

# 「市民の声」を紹介します



投書箱（設置場所により形が異なります）

市では、より良い市政を行っていくために、市民の皆さんから広く意見や要望などをお聞きする「市民の声」という制度を設けています。

ここでは、いただいた意見などの中から、その一部を紹介します。なお、意見などは要約しています。

問合せ 秘書課広聴担当（☎65・2160）



市ホームページ内の入力フォーム

## 空き缶の回収について

空き缶の回収が月に2回ほどしかなく、不便で我慢できません。前に住んでいた所では、瓶や缶の回収ボックスがまちのあちこちに設置してあり、いつでも誰でも入れることができるようになっていました。西尾市でも設置してみたいかがでしょうか。

## 答

空き缶は月2回、各町内会の資源ステーションで収集をしていますが、日程の都合上、収集が2週間以上空く場合があります。そのため、資源がたまってしまつので早く出したいという方や、お勤めの事情などで収集日以外に出したいという方にもご利用いただけるように、年末年始を除く毎日午前10時から午後7時まで、市役



常設資源ステーションは、市役所敷地内、米津町蔵屋敷、平坂町鳥取の3か所に開設しています

## 電気自動車用普通充電器の設置について

所・米津地区・平坂地区の3か所で、常設資源ステーションを開設しています。このほか、子ども会やPTAなどの団体による資源回収が行われることもありますので、併せてご利用ください。なお、回収ボックスの設置は、管理・費用などの面から現在のところ導入の予定はありません。（こみ減量課）

西尾市は、電気自動車やプラグインハイブリッド自動車の購入にあたり10万円の補助をしていて、環境負荷物質の低減や二酸化炭素排出量低減に積極的に取り組んでいる自治体として自慢できる市であると思います。また、充電器を市の主な観光地に設置したことは大変有意義なことであると思います。しかし、設置したのは普通充電器であり、はたしてどれほどの方が利用するのでしょうか。さらに、設置した充電器はどんな方たちの利用を見込んでいるのでしょうか。急速充電器を設置しているところはまだまだ少ないです。西尾市が急速充電器を設置すれば、通過点でしかなかった西尾市が目的地になると思います。せめてどこか1か所でも設置していただくと観光地のPR効果抜群かと思



充電スタンドは、道の駅にしお岡ノ山、憩の農園、一色さかな広場の3か所に設置しています

## 答

充電器を市内観光施設3か所に設置した目的は、電気自動車を普及促進させ、市内観光施設を回遊できるようにするためです。各観光施設において、買い物の時間を利用して充電していただきたいと考えています。利用者は1か所当たり月10人を見込んでいます。利用金額については、どなたにも平等に利用していただくため1時間100円のコイン式充電器の設定とさせていただきます。また、急速充電器は大変魅力的ですが、今回はコスト面において費用対効果が見込めないことと、全ての電気自動車に対応していないことから断念しました。今後、急速充電に対する需要が高まるようであれば、改めて検討したいと考えています。（商工観光課）

路面状況について

西尾市は車道の路面状況は良くても、歩道や、車道と歩道のつなぎ目の凸凹が他市と比べて、良くないと感じます。細い脇道や路地であれば多少仕方ないとは思いますが、割と太い主要な道路であっても同様です。特に自転車に乗っていると、暗くなつてからなどは、不意に路面に段差があつたり、隆起があつたりして危険を感じますし、車道外側線から駐車場へ左折する時などもタイヤが段差に非常にひつかかりやすく危険を感じます。市はそういった事情を把握しているのでしょうか。早急に歩行者や自転車が安全に通行できるような道路にしてほしいです。

答

国・県道は愛知県、市道は西尾市がそれぞれ維持管理しています。市道の維持管理としては、穴埋めなどの補修業務委託や道路パトロールなどを実施し、改善に努めています。管理する路線が多く、また、日々状況も変化するため、全ての現状を把握することが困難な状態となっています。このようなことから、地元住民や通行者の方からも情報提供にご協力をいただきながら維持管理をしています。ご指摘の道路は、車道と歩道の段差が20cmある古い方式の道路で、乗り入れ部や横断歩道部

などでは段差が大きくなつてしまつていふと思われまふ。最近は、車道と歩道の段差が5cmと段差の少ない方式になつています。また、車道から歩道への乗り入れ部の段差は、歩行者の安全確保をするために、国の基準により2cmの高さを設けていますので、ご理解をお願いします。横断歩道部などの段差も、従来は2cmの高さを設けていました。が、基準が変わり、最近

は段差が無い構造になつています。国・県道については、道路管理者である愛知県にご意見を伝え、段差などを解消し、安全に通行できる歩道となるよう要望していきまふ。(土木課)

津波対策について

海沿いや海拔の低い場所にある学校での津波が起きた時の対策として、屋上など高い所に避難するだけでなく、ライフジャケットの用意があると安心だと思ふ。実際に、他県では準備している学校もあふります。

答

ライフジャケットの準備については、海岸に近いところでは、独自に配備している学校があふります。今後も児童・生徒の安全を最優先に、学校の実態に合った防災対策を検討していきまふ。

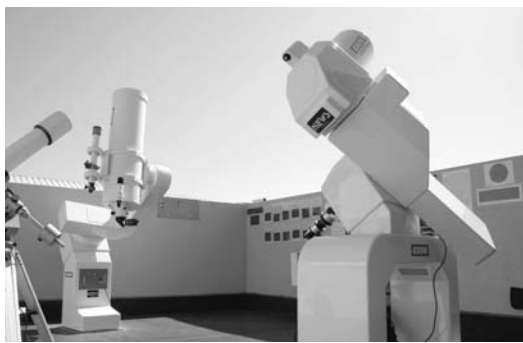
(学校教育課)

プラネタリウムについて

西尾市にプラネタリウム施設を造つてくだふ。安城や刈谷にはあふりますが、西尾市が合併して大きくなつても施設がないので、あつるとうれしいです。

答

プラネタリウム施設の設置は、多額の費用が必要であるため、現在のところ建設する予定はあふりません。なお、市内には、寺津ふれあいセンターの3階に大型の望遠鏡2台が設置されており、実際に天体観測ができる満天広場があふります。毎月第1・第3土曜日の日中と夜間、それぞれ2時間、天体観望会を開催しています。事前の申し込みも不要で、誰でも無料で参加できますので、ぜひご利用くだふ。(生涯学習課)



寺津ふれあいセンターには、30cm口径と15cm口径の2台の大型天体望遠鏡を設置しています

市政に対する意見をお寄せくだふ

市政に対する意見は、公共施設に設置した「市民の声」投書箱へ備え付けの専用紙で投かんするか、市ホームページ内の「市民の声」入力フォームから送信してくだふ。また、郵送(〒445-8501/住所不要)やファクス(FAX57・1313)でも受け付けまふ。郵送などの場合は、文書に「市民の声」と明記してくだふ。

**投書箱設置場所** 市役所行政情報コーナー(西玄関隣)、各支所、総合福祉センター、西尾市保健センター、西尾勤労会館、佐久島東渡船場、文化会館、西尾市立図書館、中央・寺津・米津・福地・西野町・八ツ面・鶴城・室場・三和・矢田の各ふれあいセンター、一色町・吉良町・幡豆の各公民館

「市民の声」を市ホームページなどで公開しています

「市民の声」に多く寄せられる意見の中で、代表的なものや市政運営の参考となる意見の要旨と回答を公開しています。市ホームページや市役所行政情報コーナーと各支所で閲覧できます。